

食物栄養学科			
教育目標	アドミッション・ポリシー(AP)	カリキュラム・ポリシー(CP)	ディプロマ・ポリシー(DP)
食物栄養学科の教育目標	食物栄養学科の入学受け入れの方針	食物栄養学科の教育課程編成・実施の方針	食物栄養学科の学位授与の方針
以下の人材を養成することが食物栄養学科の教育目標である。 1. 食を通して、人の健康の保持増進のために活躍できる豊かな人間性を身に付けた人材 2. ライフスタイルに応じた質の高い栄養指導ができる確かな専門性を身に付けた人材 3. 生活環境や食文化と食育を関連付けて考え、地域社会に貢献できる人材	食物栄養学科の教育目標を理解し、以下の資質を有することを期待したい。 【知識・技能】 1. 高等学校卒業相当の知識を有し、食と栄養及び健康の専門的な学習に必要な基礎学力を身に付けている人 【思考力・判断力・表現力】 2. 幅広い教養と専門知識、高い調理技術を身に付けようとする人 3. 本学の学園訓をよく理解し、人の健康のサポーターとして、自らがなすべきことを見出し、実践しようとする人 4. 自分の将来に向けて具体的な目標を持ち、他者に自分の考えを的確に表現できる人 【主体的に協働する態度】 5. 人の長所を大切に、明るくコミュニケーションできる人 6. 食と栄養及び健康に関する課題に関心を持ち、それらの解決に向けて主体的に他者と協働して学ぶ態度を有している人	食物栄養学科の教育目標及びディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のようにカリキュラム(教育課程)を編成する。 1. 短期大学士の学位に相応しい幅広い教養を身に付ける「基礎教育科目」並びに栄養士に必要な専門知識・技能を身に付ける「専門教育科目」を基盤とし、主体的、能動的に課題に取り組む態度や意欲を形成することで、思考力・判断力・表現力を身に付ける。 2. 「基礎教育科目」の「社会人基礎論」及び「教養ゼミナール(S・L)」を基軸として、「専門教育科目」の実験・実習・演習を通して、コミュニケーション力と総合的な「社会人力」を形成する。 3. 食と栄養及び健康に重点を置き、より高い目標を持つ多様な学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるように、栄養士資格に加えて、以下の資格取得も可能とする。 ○フードスペシャリスト ○健康運動実践指導者 ○エアロビック・ダンスエクササイズ・インストラクター ○レクリエーション・インストラクター ○マイクロソフト オフィス スペシャリスト(Word, Excel, PowerPoint) ○栄養教諭二種免許状 ○中学校教諭二種(家庭)免許状 ○食育指導士® ○社会福祉主事任用資格 ○介護職員初任者研修	食物栄養学科の教育目標を達成し、卒業認定に必要な所定の単位を修得して、以下の資質と能力を持つ者に短期大学士(食物栄養学)を授与する。 【知識・技能】 1. 食と栄養及び健康に必要な専門的知識と技術を有し、人の健康増進を促すことができる。 2. ライフステージの特性を把握し、栄養管理に反映させることができる。 3. 食を通して、地域福祉に即戦力として貢献することができる。 【思考力・判断力・表現力】 4. 生活環境や食文化を深く分析して、課題や問題を見つけ出し、その解決に向けて計画的に考え、答えを導き出す能力を身に付けている。 5. 身に付けた知識と技能を生かし、物事を的確に認識して評価できる能力を身に付けている。 6. 生涯にわたって学び続け、身に付けた知識や技能及び経験を創造力を持って分かりやすく他者に伝えることができる。 【コミュニケーション力・社会人力】 7. 専門職業人としての高い倫理観を保持し、社会に貢献しようとすることができる。 8. コミュニケーション力を身に付け、他者と協働して課題を解決しようとすることができる。 9. 他者への思いやりと柔軟な対応力を持つことができる。

保育学科			
教育目標	アドミッション・ポリシー(AP)	カリキュラム・ポリシー(CP)	ディプロマ・ポリシー(DP)
保育学科の教育目標	保育学科の入学受け入れの方針	保育学科の教育課程編成・実施の方針	保育学科の学位授与の方針
以下の人材を養成することが保育学科の教育目標である。 1. 子供の利益を尊重し、人として尊敬される豊かな人間性を身に付けた人材 2. 子供の発達や心の動きに合わせた保育と保護者に対する相談支援ができる確かな専門性を身に付けた人材 3. 子育ての環境と食育を関連付けて考え、地域社会に貢献できる人材	保育学科の教育目標を理解し、以下の資質を有することを期待したい。 【知識・技能】 1. 高等学校卒業相当の知識を有し、幼児教育や保育分野の専門的な学習に必要な基礎学力を身に付けている人 【思考力・判断力・表現力】 2. 幅広い教養と専門知識、高いコミュニケーション力を身に付けようとする人 3. 本学の学園訓をよく理解し、自らがなすべきことを見出してボランティアなどの学外活動に積極的に参加しようとする人 4. 自分の将来に向けて具体的な目標を持ち、他者に自分の考えを的確に表現できる人 【主体的に協働する態度】 5. 人の長所を大切に、明るくコミュニケーションできる人 6. 子供が好きで、子供と子供を取り巻く環境の課題に関心を持ち、それらの解決に向けて主体的に他者と協働して学ぶ態度を有している人	保育学科の教育目標及びディプロマ・ポリシーを達成するために、以下のようにカリキュラム(教育課程)を編成する。 1. 短期大学士の学位に相応しい幅広い教養を身に付ける「基礎教育科目」並びに保育者に必要な専門的知識・技術を身に付ける「専門教育科目」を基盤とし、主体的、能動的に課題に取り組もうとする態度や意欲を形成する。 2. 「基礎教育科目」の「社会人基礎論」及び「教養ゼミナール(S・L)」を基軸として、「専門教育科目」の実習・演習を通して、コミュニケーション力と総合的な「社会人力」を形成する。特にS・LⅡでは、地域課題解決型学習(PBL)にも取り組み、地域社会に貢献しようとする資質を養う。 3. 「専門教育科目」では、講義・演習の学びと併せて各種実習のほか、フィールド学習などを通して1つの課題を多面的に把握して考察できる能力を培う。 4. 食育と音楽表現に重点を置き、より高い目標を持つ多様な学生が自ら学修計画を立て主体的な学びを実践できるように、保育士資格に加えて以下の資格取得も可能とする。 ○幼稚園教諭二種免許状 ○レクリエーション・インストラクター ○食育指導士® ○保健児童ソーシャルワーカー ○准学校心理士 ○マイクロソフト オフィス スペシャリスト(Word, Excel, PowerPoint) ○社会福祉主事任用資格 ○介護職員初任者研修	保育学科の教育目標を達成し、卒業認定に必要な所定の単位を修得して、以下の資質と能力を持つ者に短期大学士(保育学)を授与する。 【知識・技能】 1. 保育と子育て支援に必要な専門的知識と技術、とりわけ食育知識と音楽表現技術を有し、子供の成長を促すことができる。 2. 地域の特性を的確に把握し、保育に反映させることができる。 3. 保育者の社会的使命を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 4. 子育て環境を深く分析して、課題や問題を見つけ出し、その解決に向けて計画的に考え、答えを導き出す能力を身に付けている。 5. 身に付けた知識と技能を生かし、物事を的確に認識して評価できる能力を身に付けている。 6. 生涯にわたって学び続け、身に付けた知識や技能並びに経験を分かりやすく他者に伝えることができる。 【コミュニケーション力・社会人力】 7. 専門職業人としての高い倫理観を保持し、社会に貢献しようとすることができる。 8. コミュニケーション力を身に付け、他者と協働して課題を解決しようとすることができる。 9. 他者への思いやりと柔軟な対応力を持つことができる。